

核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団・ネットワークみどり共催講演会
2016年5月15日(日)



なぜ日本は原発・再処理をやめないのか

6年目の福島にむきあう

小出 裕章₁

ビルケナウ（アウシュビッツ第2）強制収容所

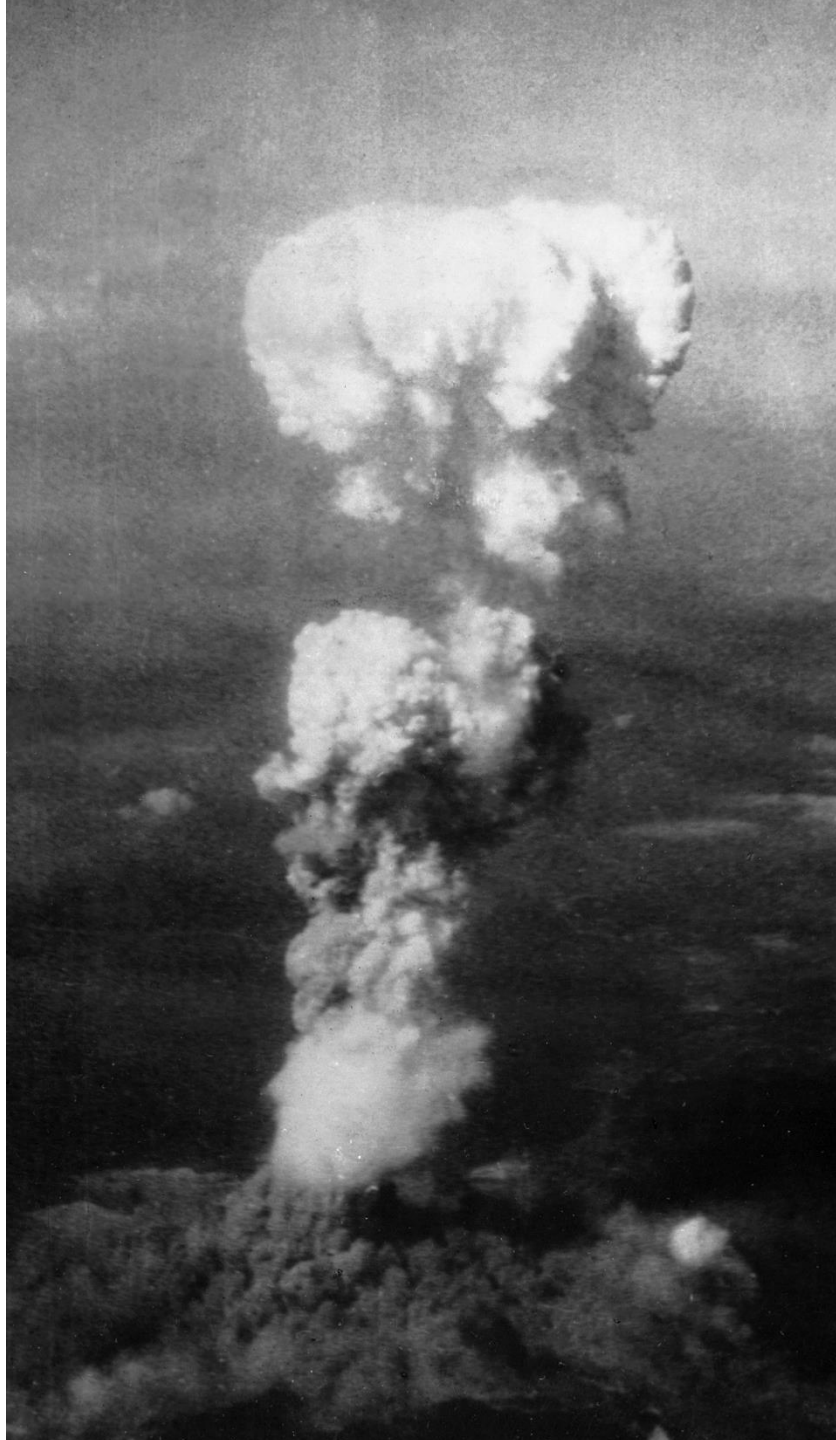


ヴァイツゼッカー演説

「荒れ野の40年」

問題は過去を克服することではありません。さようなことができるわけはありません。後になって過去を変えたり、起こらなかったことにするわけにはまいりません。しかし過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となります。

人々が生きる街で原爆が炸裂



広島原爆の キノコ雲

16kT=
1万6000トン
東京大空襲
1800トン

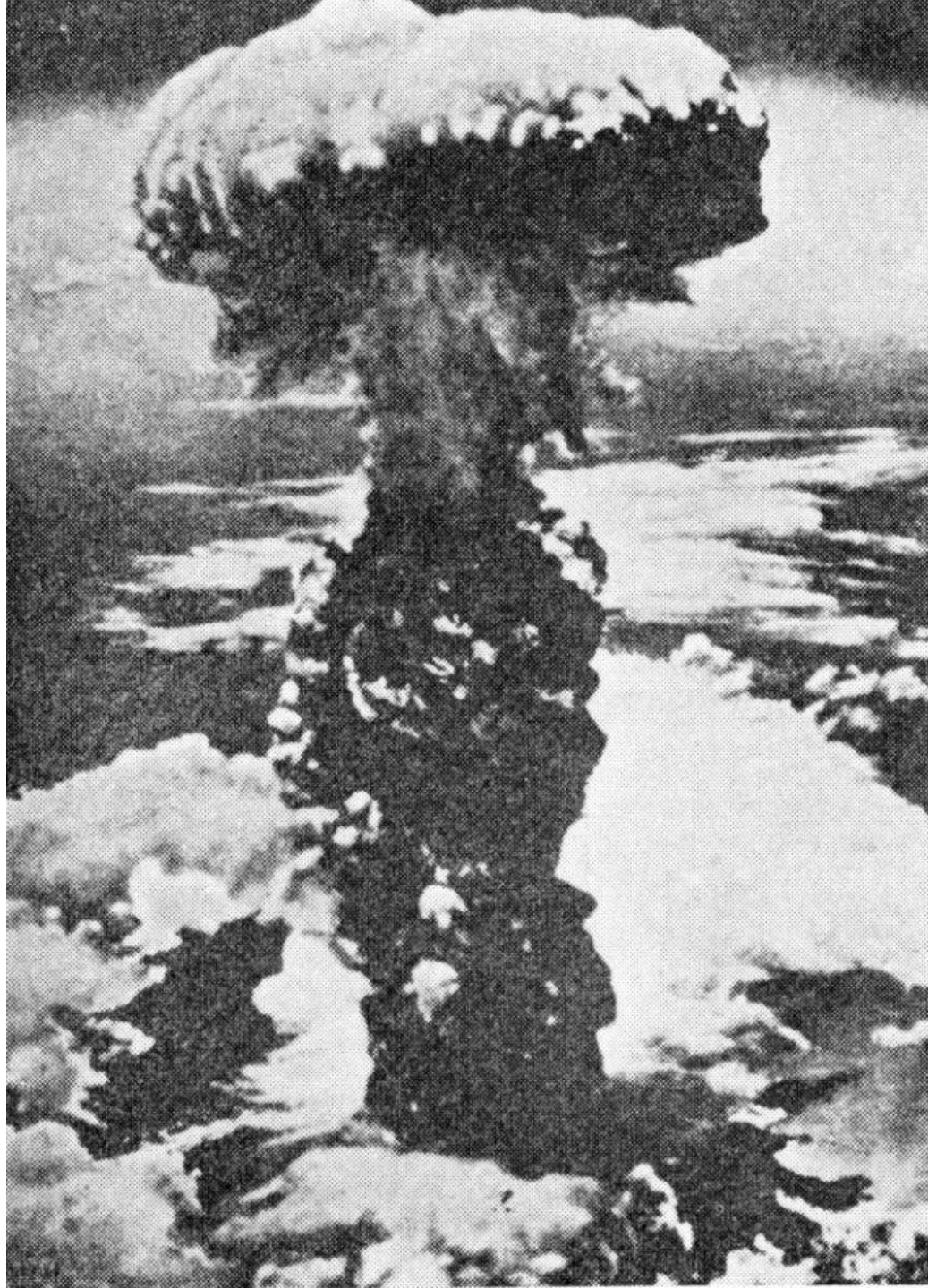
広島町の町並み



被爆前の広島市街

写真左に広島県産業奨励館（現在の原爆ドーム）

長崎原爆のきのこ雲



広島
の3日後、
人々が
生きる
街に
再度
落とさ
れた
原爆

21kT=
2万1000トン

日本の敗北と朝鮮の解放

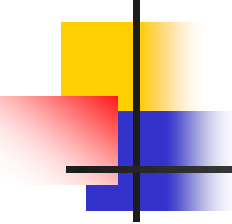


8月15日

日本 終戦記念日

韓国 光復節

朝鮮 祖国解放記念日



曖昧にされた戦争責任

戦争中は、現人神の天皇がいるので戦争には必ず勝つ、1億総火の玉になって、鬼畜米英を撃滅すると教育され、すべてのマスコミがそれに加担した。

個人の自由よりも国家が大切とされ、徴兵を拒否すれば、即、刑務所行き、一族郎党は非国民のレッテルを張られて、ごく普通の人々によって弾圧された。

敗戦を受け、今度は一転して米国の民主主義が賛美され、教師は一斉に教科書に墨塗りして民主主義を謳い、マスコミも一斉にそれに倣った。

天皇は人間宣言をして生き残ったが、戦争責任も問われず、いまだに敬うべき対象とされ、マスコミは皇室の発言を「お言葉」として報道する。

何故、そうなったかといえ、権力犯罪はより強大な権力によってしか処罰されないからであり、大日本帝国より巨大だった米国は戦後日本を支配するために、天皇を利用する道を選んだからである。

原子力にかけた**幻**の夢

「さて原子力を潜在電力として考
えると、まったくとてつもないも
のである。しかも石炭などの資源
が今後、地球上から次第に少なく
なっていくことを思えば、このエ
ネルギーのもつ威力は人類生存に
不可欠なものといつてよいだろう。
(中略) 電気料は二千分の一になる。

(中略) 原子力発電には火力発電
のように大工場を必要としない、
大煙突も貯炭場もいらぬ。また
毎日石炭を運びこみ、たきがらを
捨てるための鉄道もトラックもい
らぬ。密閉式のガスタービンが
利用できれば、ボイラーの水すら
いらぬのである。もちろん山間
へき地を選ぶこともない。ビル
ディングの地下室が発電所という
ことになる」

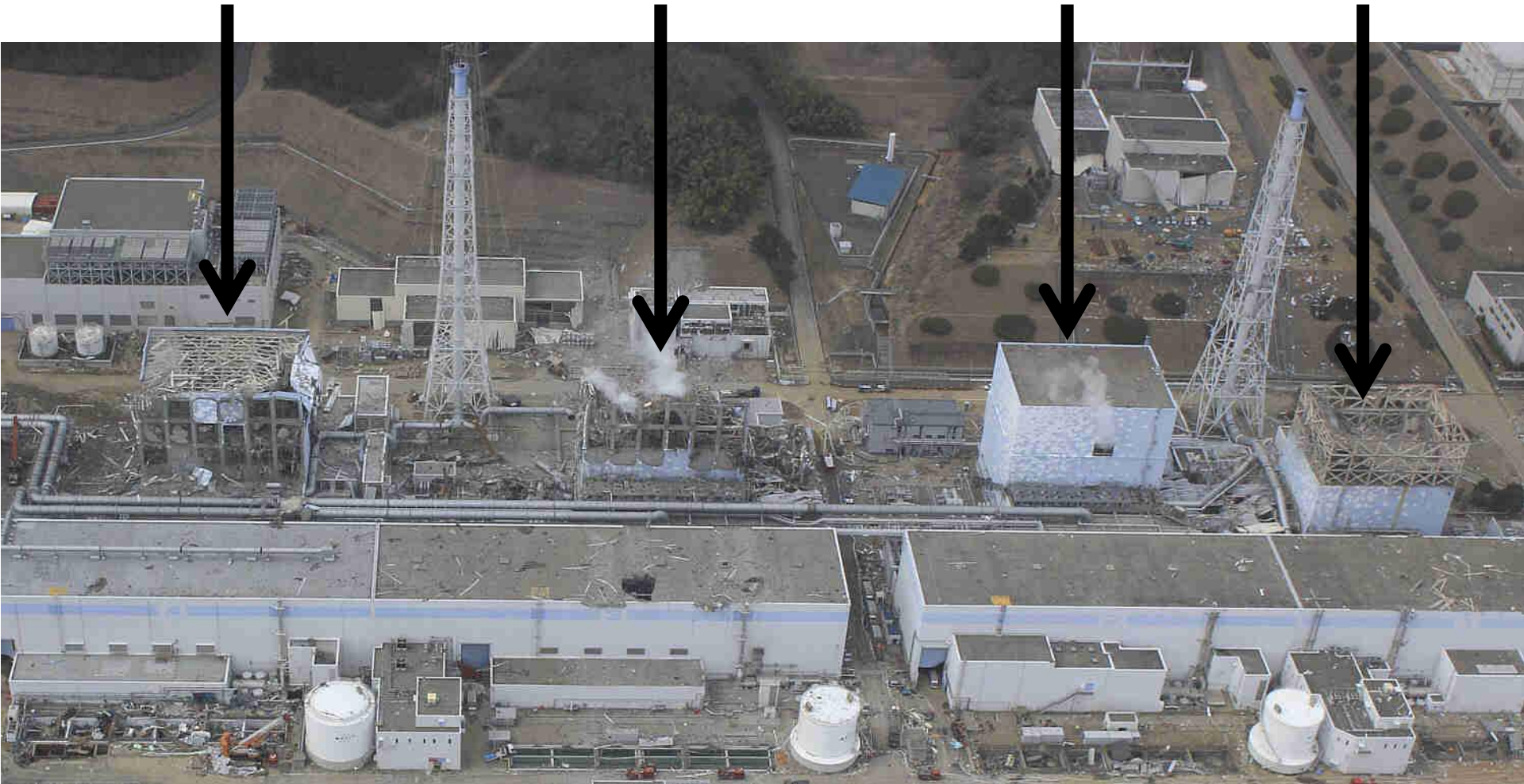
(1954年7月2日、毎日新聞)

4号機

3号機

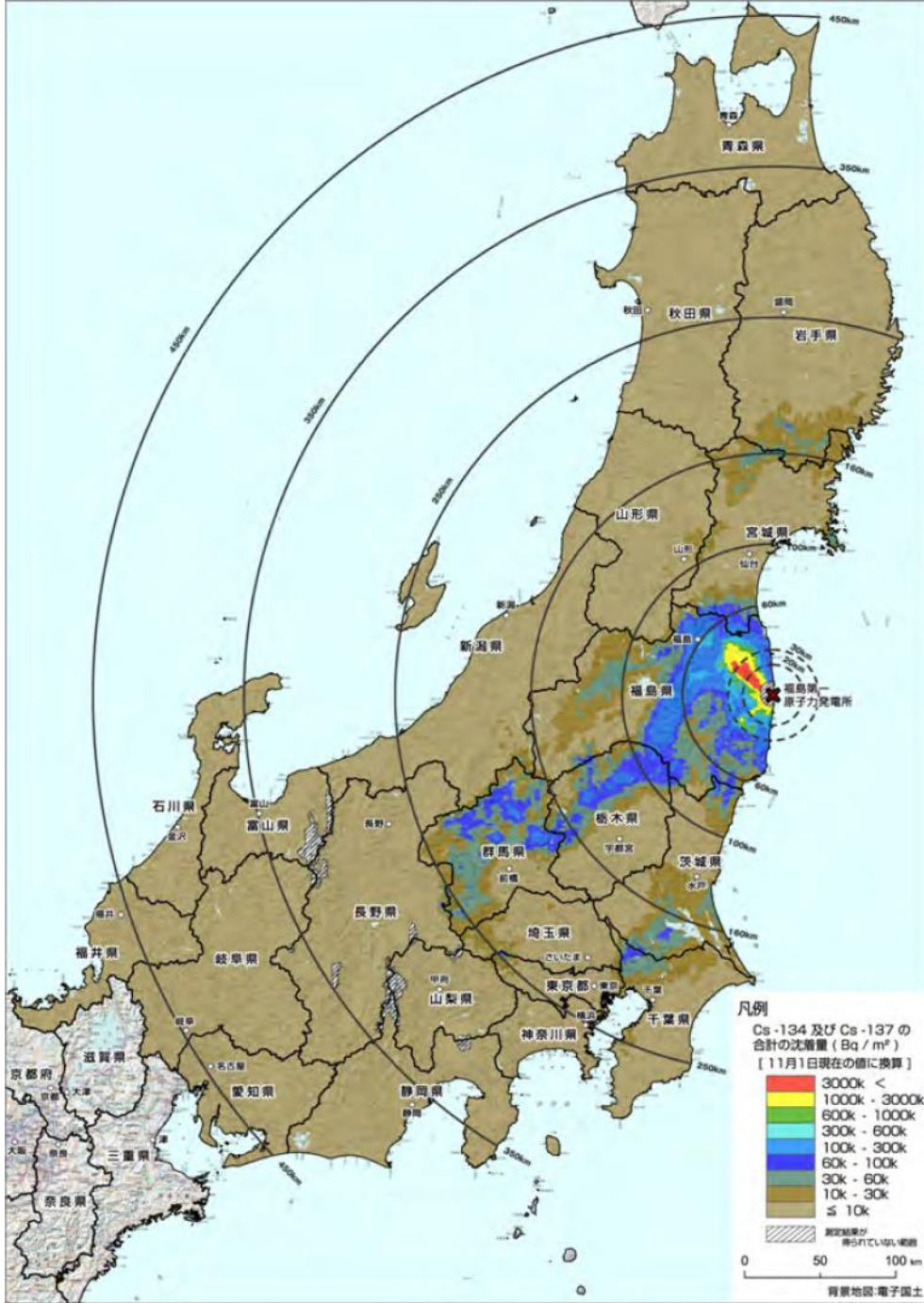
2号機

1号機



福島原発事故

今、進行中



福島県の東半分を
中心にして、宮城
県と茨城県の南
部・北部、さらに、
栃木県、群馬県の
北半分、千葉県
北部、岩手県、新
潟県、埼玉県と東
京都の一部地域が、
放射線管理区域に
しなければならな
い汚染を受けた。11

放射能は五感で感じられない。

五感で感じられるほど放射能があれば、五感に感じる前に死んでしまう。

大気中に放出されたセシウム137の放射能量
(日本政府がIAEAに報告した値)

1.5×10^{16} ベクレル

重量では 4.7 kg

日本の陸地に降下したセシウム137の放射能量
(沢野伸浩 さん(星稜女子短期大学)の評価)

2.4×10^{15} ベクレル

重量では 750 g₁₂

放射能が目に見えればいいのにな…と私は思う。



柚木ミサトさんのイラスト



解除できない 原子力緊急事態宣言

2011年12月、民主党が政権を取っていた当時の野田首相は事故収束宣言を出した。

2013年9月、ブエノスアイレスで開かれていたIOC総会で、自民党の安倍首相は事故はアンダーコントロールだと宣言した。

しかし、2011年3月11日に発令された原子力緊急事態宣言は4年半以上たった今も解除されておらず、緊急事態だとして、赤ん坊も含め人々は汚染地に棄てられたままである。今現在、日本という国は緊急事態下にある。

この原子力緊急事態宣言はおそらく数十年は解除できない。しかし、自民党政権は経済最優先で、オリンピックが大切だという。まことにこの国は狂っている。

福島第一原子力発電所事故の教訓

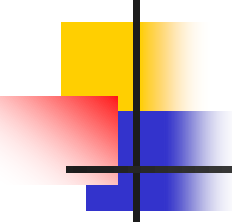


私が得た教訓

原子力発電所事故は破局的な被害を生じる。
原子力発電所は即刻廃絶すべきものだ。

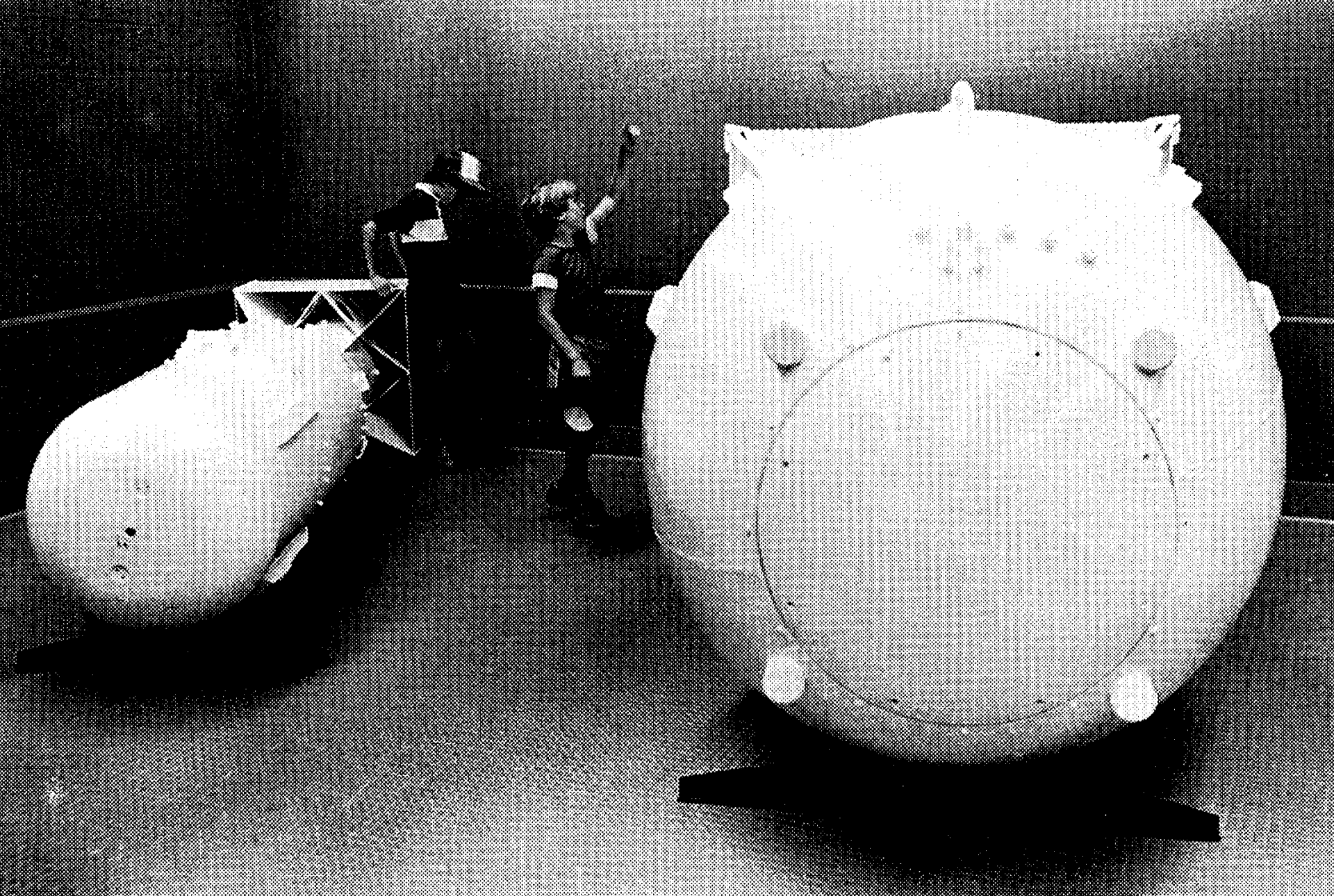
原子力マフィアが得た教訓

どんな悲惨な被害を出しても誰も処罰されない。
原子力発電所を再稼働して、また儲けよう。



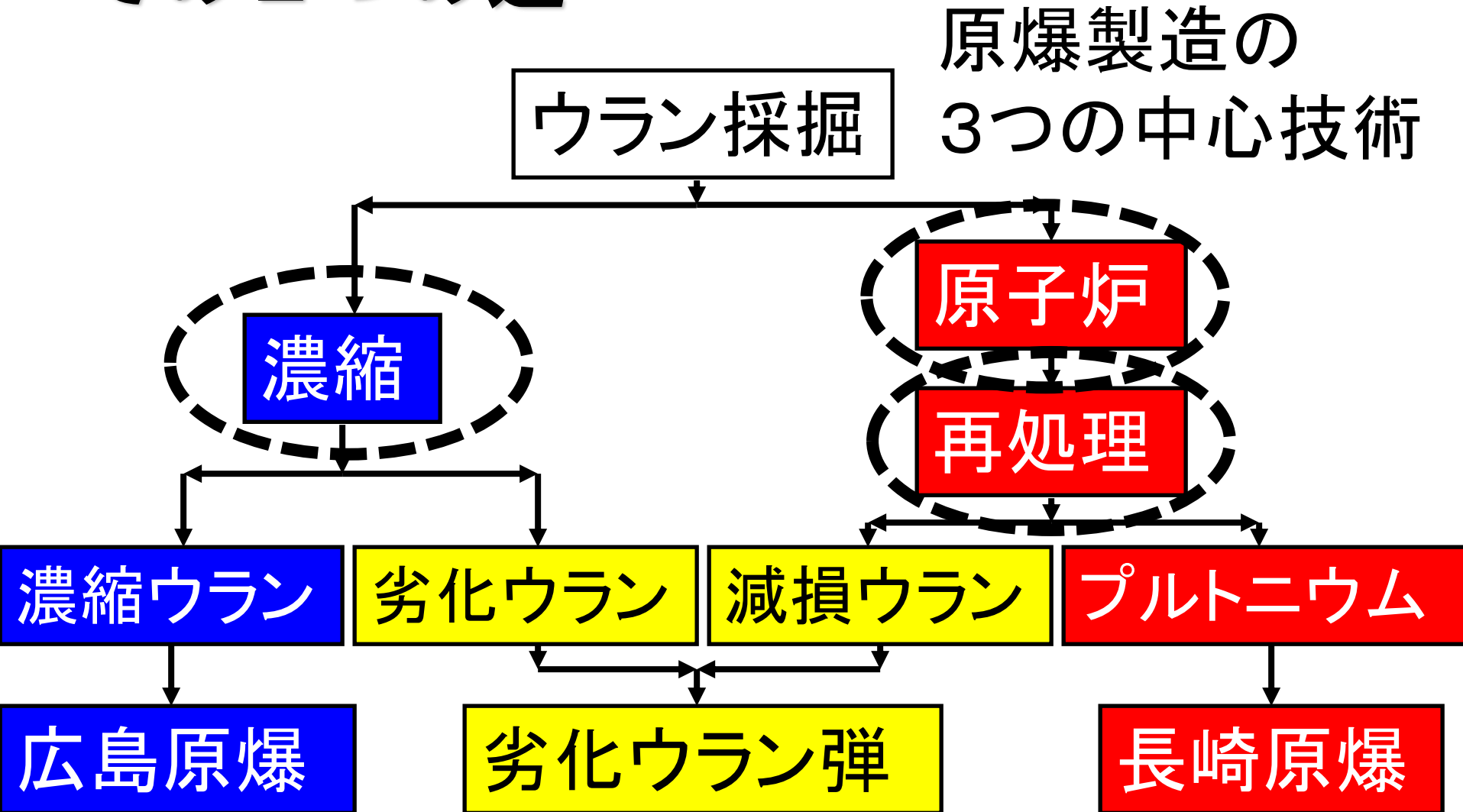
事故の責任を明確にしな ければ、再び事故は起きる。

日本では、これまで58基の原子力発電所が建てられた。そのすべては自民党政権が「安全性を確認した」として建てられた。そして、電力会社、原子力産業、ゼネコンをはじめとする土建集団、学会、裁判所、マスコミ、すべてがグルになって原子力を進めてきた。もちろん、福島第一原子力発電所も「安全性を確認した」として建てられたが、事故を起こした。原子力マフィアには重大な責任があるが、誰一人として責任を取っていない。日本が「法治国家」だといふのであれば、彼らを犯罪者として徹底的に処罰する必要がある。過去に目を閉ざす者は現在にも盲目となる。



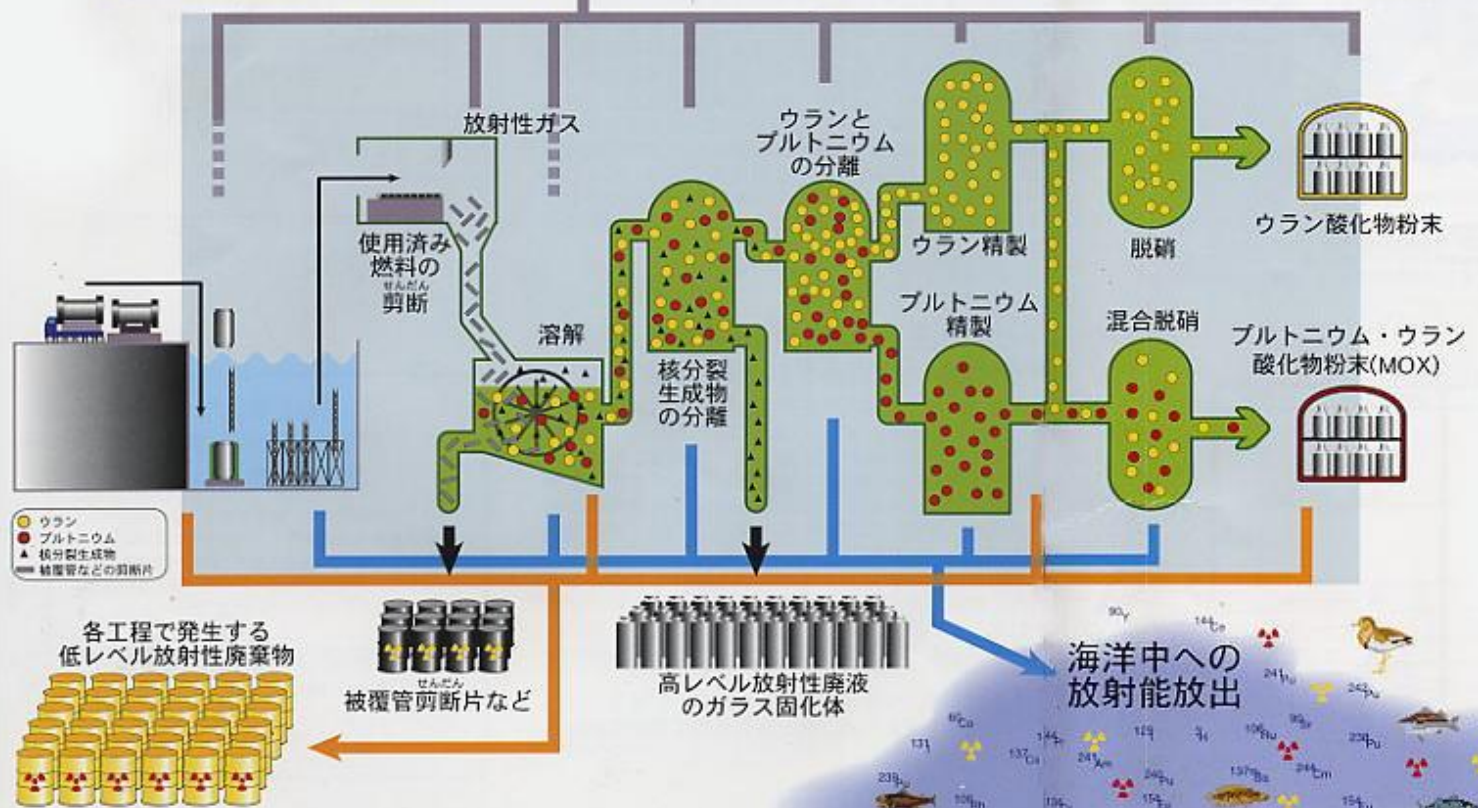
Little Boy (広島原爆) と Fat Man (長崎原爆)

米国の原爆製造（マンハッタン計画） での2つの道



大気中への放射能放出

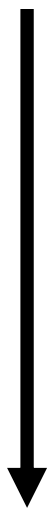
- | | | | | | |
|--|---|--|--|---|---|
| 使用済み燃料の運び込み・貯蔵
原発から使用済み燃料を輸送し、貯蔵プールで貯蔵・冷却する。
●燃料破損
●冷却水漏れ
●冷却不能 | せんごん 剪断・溶解
燃料棒を燃料棒のさやごと剪断し（ブツ切り）、高温・高濃度の硝酸で燃料を溶かす。剪断する際にクリプトン85、ヨウ素129などの放射性ガスを大量に環境中へ放出する。 | 分離
有機溶媒をつかって、核分裂生成物（死の灰）とウラン・プルトニウムとを分離する。その後、ウランとプルトニウムのそれぞれの溶液に分離する。 | 精製
ウランとプルトニウムのそれぞれの溶液の純度を上げるために、分離作業を繰り返して行なう。 | 脱硝
ウランの硝酸塩およびプルトニウム・ウラン混合硝酸塩を硝酸の希釈液に溶解し、核分裂生成物に由来する硝酸根から、プルトニウムの溶液にはウランの濃度を上げてから脱硝の作業を行う。 | 粉末貯蔵
プルトニウム・ウランの混合粉末（MOX粉末）とウラン粉末を管線に小分けして入れて冷却・貯蔵する。 |
|--|---|--|--|---|---|



100万kWの原発
1基が1年運転する
ごとに生み出す
放射能の量

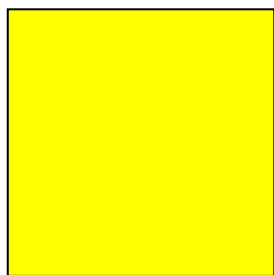
1トン

それが30トンの
使用済核燃料に
含まれる



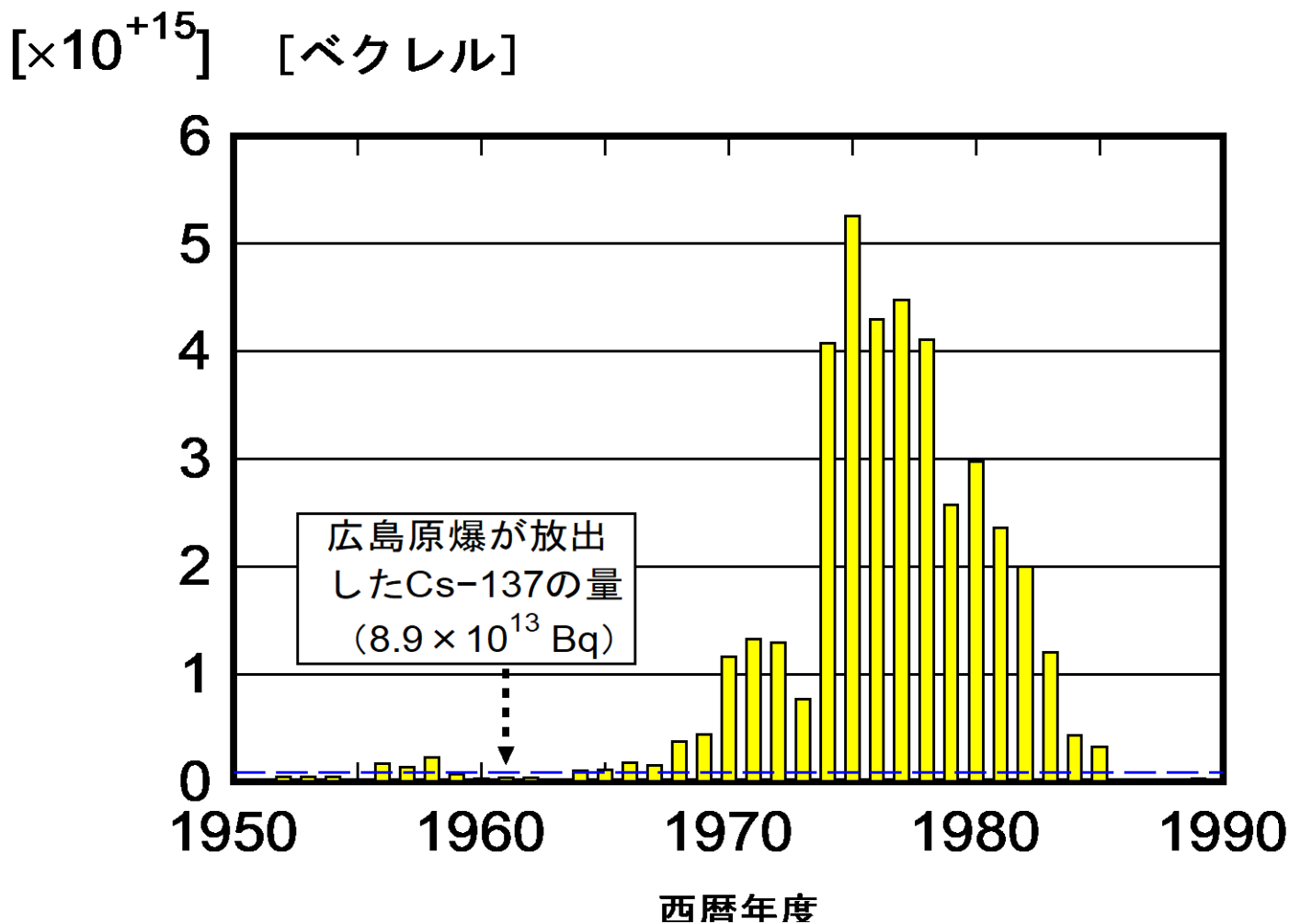
広島原
爆が撒
き散ら
した放
射能の
量

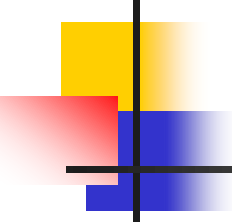
800g



六ヶ所再処理工場で毎年
取り扱う放射能の量
使用済核燃料800トン

英国ウィンズケール(セラフィールド)再処理工場は半世紀にわたる平常運転で、広島原爆400発以上のセシウム137をアイリッシュ海に放出した。

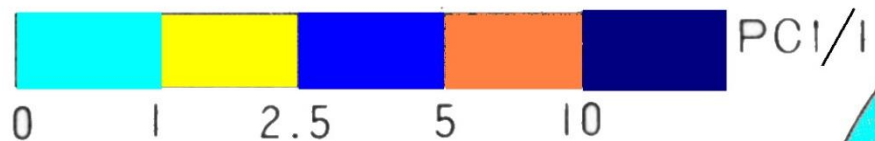




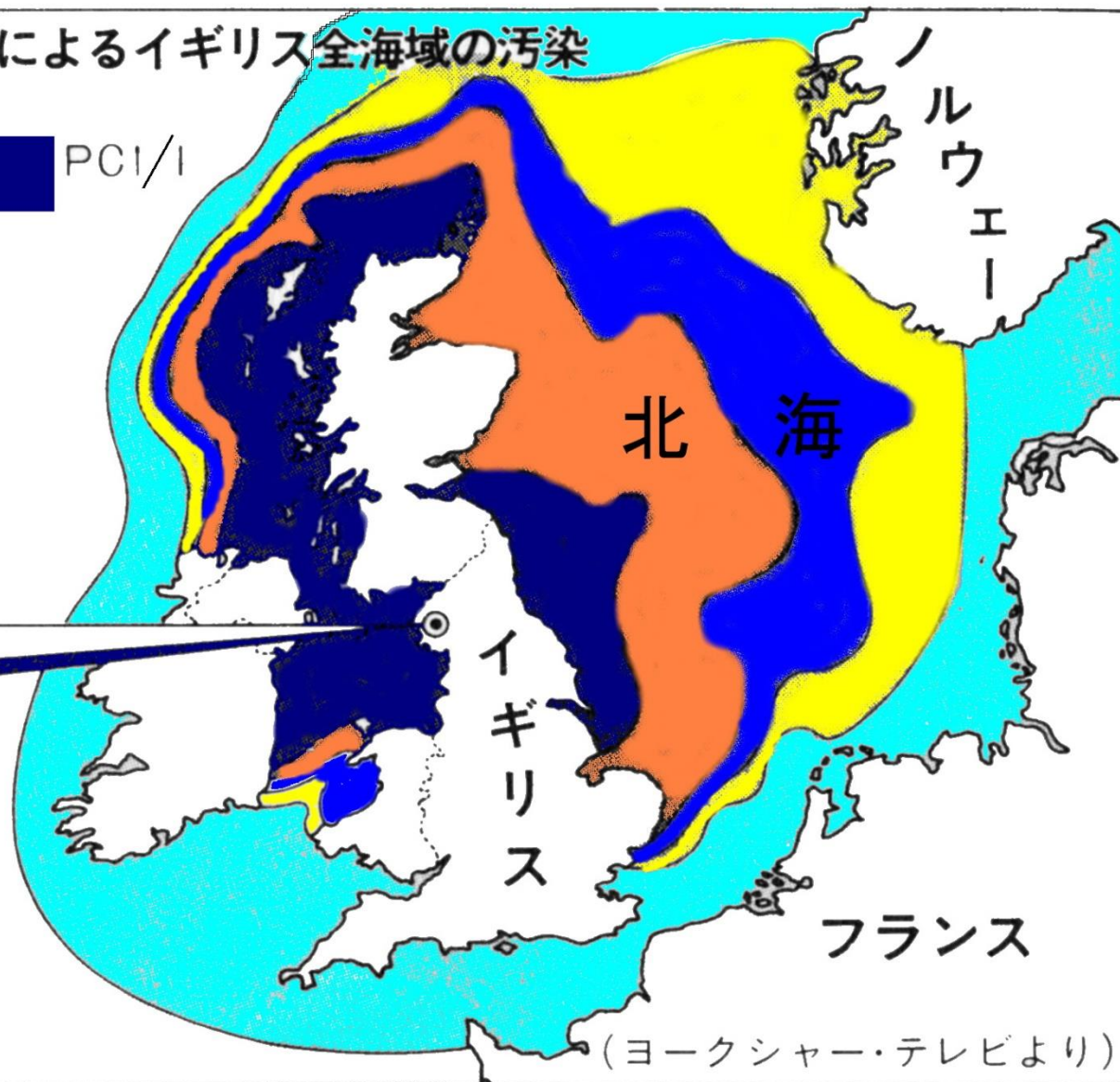
環境に放出されたセシウム137の量 (単位:ペタベクレル)

広島原爆(1945年8月6日)	0.089
大気圏内核実験(1945年から1980年)	964
チェルノブイリ原発事故(1986年4月26日)	89
ウィンズケール平常運転(1952年～現在)	41
福島第一原発事故、大気中放出 (2011年3月11日)	15

■ ウィンズケール再処理工場によるイギリス全海域の汚染



大西洋

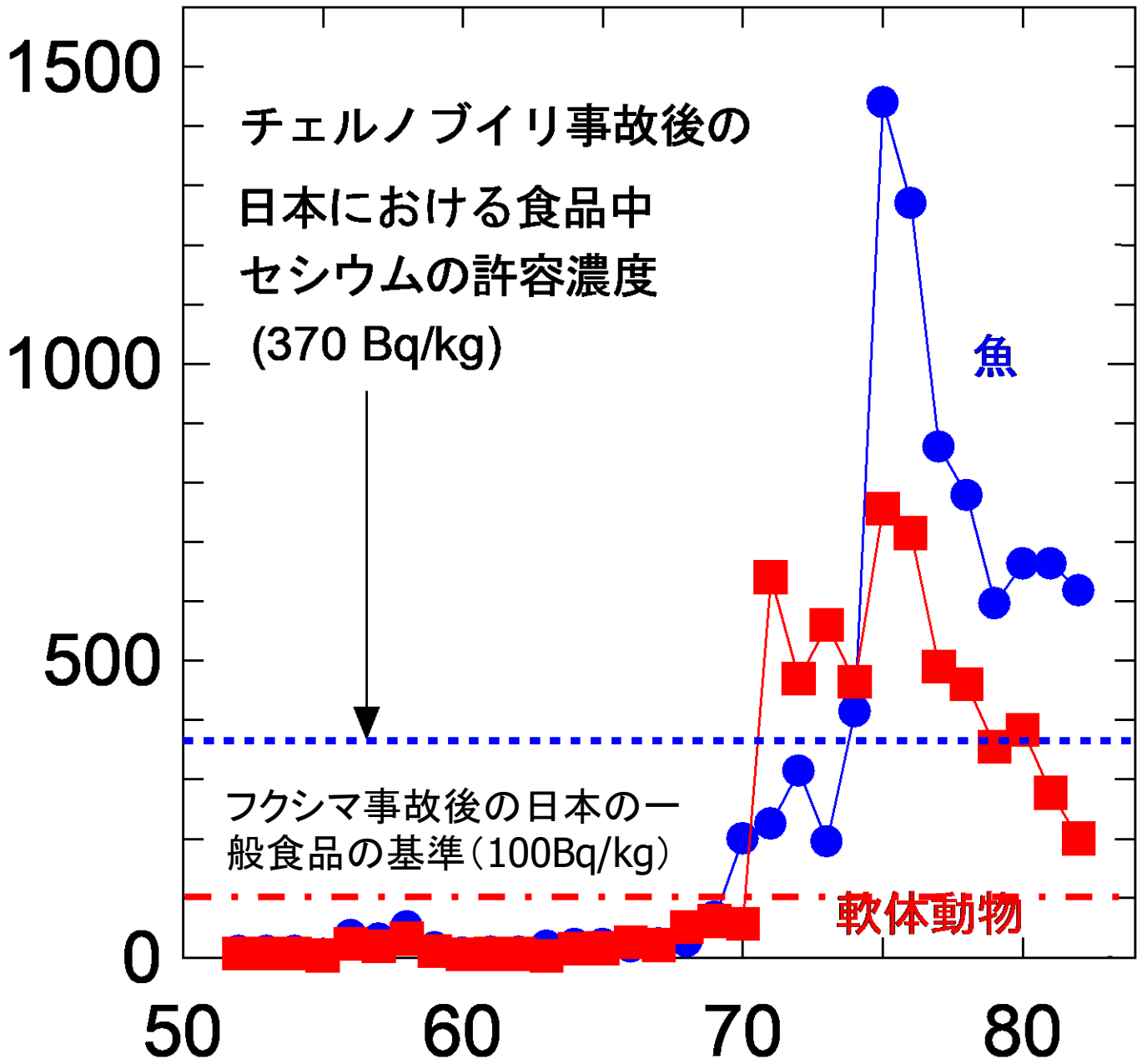


ウィンズケール

(改称セラフィールド)

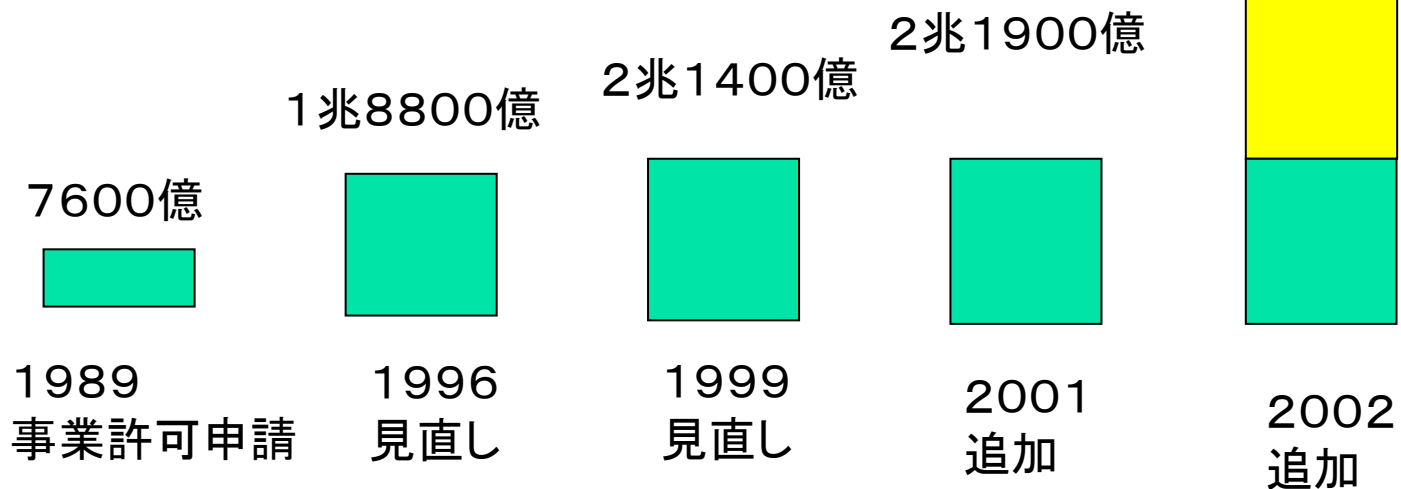
(ヨークシャー・テレビより)

Bq/kg



六ヶ所再処理工場 に要する費用

12兆6800億





六ヶ所再処理工場の非経済性

六ヶ所再処理工場で処理できる使用済み燃料

800トン/年 × 40年 = 32,000トン

必要な経費: 11兆円

使用済み燃料1トン当たり約4億円

英仏への委託費は1トン当たり約2億円

原子力を進める本当の理由

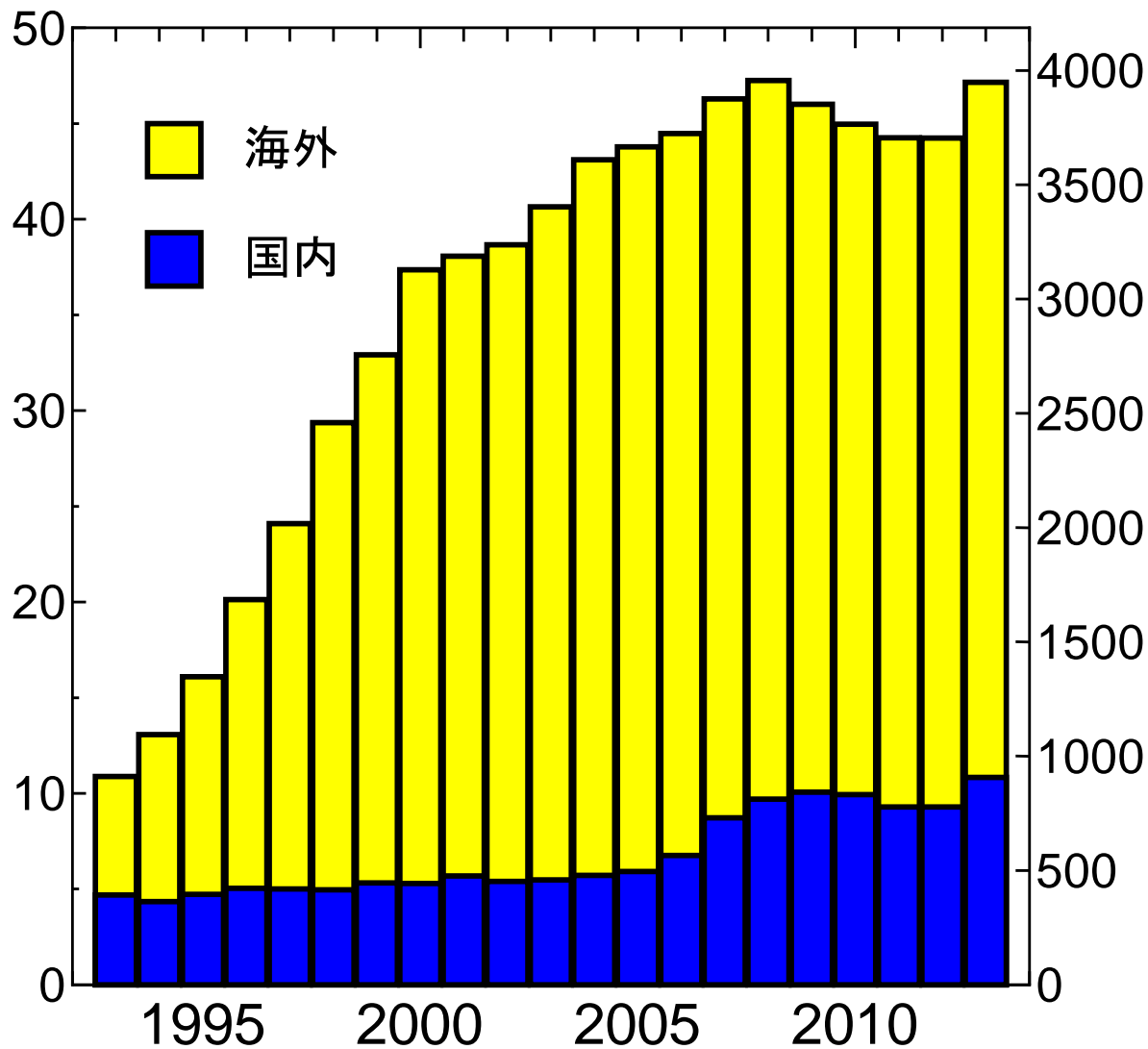
外務省幹部の談話

個人としての見解だが、日本の外交力の裏付けとして、核武装の選択の可能性を捨ててしまわない方がいい。保有能力はもつが、当面、政策として持たない、という形でいい。そのためにも、プルトニウムの蓄積と、ミサイルに転用できるロケット技術は開発しておかなければならない。

(朝日新聞、一九九二年十一月二九日)

[トン・分離プルトニウム]

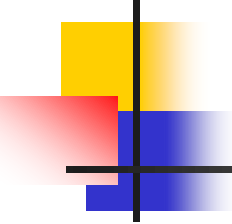
[長崎原爆の個数]



日本の分離プルトニウム保有状況

長崎原爆(21kt)が8kgのプルトニウム239で製造されていたとし、保管中の分離プルトニウムの67%が核分裂性であると仮定した。

着々と懐に入れた原爆材料・プルトニウム



「平和利用」に隠れながら 実質的な核保有国になった日本

国連（United Nations：連合国）常任理事国の米、露、英、仏、中5か国は戦勝国であるとともに核兵器保有国。

その5か国は核兵器製造の中心3技術（ウラン濃縮、原子炉、再処理）をすべて保有している。

そして、核不拡散条約と国際原子力機関（IAEA）を作って核の独占を謀り、他国にその技術を持たせないようにしてきた。

しかし、核兵器保有国でなく、中心3技術をすべて保有している国が世界に一つある。



使い分けられてきた言葉

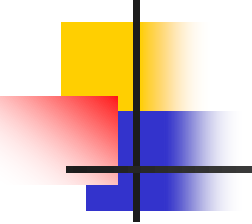
日本では、「Nuclear」という言葉が、ある時は「核」、ある時は「原子力」と使い分けられてきた。

「Nuclear Development」を朝鮮民主主義人民共和国やイランが行う時は「核開発」、日本が行う時は「原子力開発」訳してきたし、今でもそうしている。

国だけではなく、マスコミもまたそれに加担している。

私は、何よりも公平でありたい。

他人に「Nuclear Development」を禁じるのであれば、自分もしてはいけない。




着々と進められる原子力の軍事利用 原子力基本法の改定（2012年6月20日）

（基本方針）

第2条 原子力利用は、平和の目的に限り、安全の確保を旨として、民主的な運営の下に、自主的にこれを行うものとし、その成果を公開し、進んで国際協力に資するものとする。

2 前項の安全の確保については、確立された国際的な基準を踏まえ、国民の生命、健康及び財産の保護、環境の保全並びに**我が国の安全保障**に資することを目的として、行うものとする。



大きな流れは気付いた時には止められない ドイツ福音主義教会、マルチン・ニーメラー牧師

ナチスがコミュニストを弾圧したとき、私はとても不安だった。が、コミュニストではなかったから、何の行動も私は行わなかった。その次、ナチスはソシアリストを弾圧した。私はソシアリストではないので、何の抗議もしなかった。それから、ナチスは学生・新聞・ユダヤ人と順次弾圧の輪を広げて行き、その度に私の不安は増大した。が、それでも私は行動しなかった。ある日、ついにナチスは教会を弾圧して来た。そして私は牧師だった。が、もうその時はすべてがあまりにも遅すぎた。



大切な自己責任

かつての戦争の時、大多数の日本人は戦争に協力した。
騙されたからだと言いつけをする人もいる。

もちろん大本営発表しか流されなかったし、歴史の大きな流れの中では、戦争を止めることは誰にもできなかった。

国家によって殺された人もいた。しかし、ごく普通の人々が、戦争に反対する人を非国民と呼び、村八分にし、殺していった。

安倍さん率いる自民党が戦争への道を着々と敷いている今、原子力や戦争法案にどう向き合うか、一人ひとりの責任で考え、行動する必要がある。自分の身に危険が迫った時には、すでに抵抗の力は奪われている。



終わります

ありがとうございました